

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2015年度達成度評価表 分野: 学生支援

		評価	理由
中期計画	1 健康的で充実した学生生活の実現		
実行計画	(1) 学生への生活支援策(健康管理・下宿・アルバイトなど)を強化する。	C	昨年度の実行計画の評価では、「次年度で改善に繋げるための具体的な改善策を検討し、次年度の報告書での明記を求める。」とあるが、そのことが実施されていない。
	(2) 学内奨学金制度などの見直しを行う。	A	今後も継続的な支援と制度の改善を図ることが求められる。
	(3) 各種相談室の充実とその連携協力体制を強化する。また、医務室の体制を整えていく。	A	計画に基づき着実に実行できている。
	(4) 「なんでも案内」「ピア・サポート」などによる学生生活支援体制を構築する。	A	新入生の満足度が100%に近いことが証左となっている。
	(5) 新入生へのフォローアップ(サポート)体制を確立する。	B	目標どおりにサイクルが回っており、大きな問題なく実施できている。
中期計画	2 安全で快適なキャンパス環境の充実		
実行計画	(1) ハラスメント防止策の徹底を図る。	B	新入生オリエンテーションやリーダーズトレーニングで着実にハラスメント防止策の周知を行っている。
	(2) 禁煙指導を強化する。	B	学生及び教職員から寄せられる苦情が少なくなったことは評価できるが、学生数が増加したKPCの喫煙マナーが悪くなっているといった、新たな問題も発生しているため、今後も喫煙指導等を続けることが望まれる。
	(3) 防犯対策を強化する。	B	防犯対策は、予防と再発防止に早急に対応する必要があり、重要なものであるため、継続して対策に努めることが望まれる。
	(4) 薬物乱用防止のための啓発活動を強化する。	B	今後も継続的に取り組むことが望まれる。
	(5) 学生のグループワークを促進するためのゾーンを設置する。	—	今年度の計画は無い。
	(6) 学内食堂、売店などの充実を図る。	B	業者懇談会や日常的な意見交換をすることで、サービスの改善に繋がっている。
	(7) 学内トイレ、洗面所などの改善を進める。	B	学内トイレ、洗面所の改善を年次的に進めており、今後に期待できる。
中期計画	3 課外活動の奨励と支援		
実行計画	(1) 課外活動参加者の増加策を検討する。	B	課外活動案内を継続して実施しているが、顕著な効果はあがっていない。もう一段増加策の検討が望まれる。
	(2) 強化クラブ、準強化クラブ制度の再構築を行う。	—	今年度の計画は無い。
	(3) 課外活動活性化推進室(仮称)の設置を検討する。	A	指定クラブ強化推薦入試を導入したことや各クラブの就職状況を作成し、顧問・監督等連絡会で説明し課外活動活性化に寄与できていると評価できる。
	(4) 課外活動および各種学生団体、グループの発表・展示・活動の促進と支援を図る。	A	課外活動でも附属高校との連携が図られており、評価できる。2016年度の高校移転に向けて、施設利用も含め、さらなる連携が望まれる。
	(5) 課外活動施設・設備の充実を図る。	C	予算が獲得できなかったため、充実が図られなかった。本実行計画は最終年ではあるが、今後も引き続き充実を図ることが望まれる。
中期計画	4 キャリア支援の強化		
実行計画	(1) 企業訪問、学内企業説明会などによる企業との接点を強化する。	B	本学が掲げる「学生満足度の高い大学」の要として就職の向上は重要であり、継続的な施策実施により、引き続き一流企業、地元の優良企業、双方との接点強化の推進に期待する。
	(2) インターンシップ制度の充実を図る。	B	企業とのインターンシップは着実に伸びてきている。今後とも継続して実施するとともに、学部の特長を活かしたインターンシップや低学年からのインターンシップの実施を行うなどの工夫を求める。また、海外インターンシップの実施の検討が望まれる。
	(3) 学生の就職活動状況の的確な把握のために、学部、研究科との連携を図る。	B	キャリアセンターを中心に種々取り組みを行っている。地道な取り組みが結果に結びついている。
	(4) 既卒者を含む就職未内定者に対するサポート体制を強化する。	B	既卒者を含む就職未内定者に対するサポートがなされてきている。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る